

ふくしま県人会だより

連合会長就任挨拶

福島県人会北海道連合会

会長 田中 四郎



各県人会の役員及び会員の皆様には御健勝の事と存じます。

去る五月二十七日、定山溪万世閣ホテルミリオーネに於いて開催されました第四十五回福島県人会北海道連合会総会には、鈴木正晃福島県副知事、満山喜一福島県議会副議長、佐藤嘉大北海道総合政策部長、遠藤連北海道議会議長、若松謙維参議院議員、佐藤英道衆議院議員、涌井国夫札幌市議会議員、野地義幸福島県民広報室長の御来賓を迎え、

第36号
平成29年10月
福島県人会
北海道連合会

さらに道内各地の県人会から大勢の役員及び会員の御参加を戴き誠にありがとうございました。

御陰様で、総会、懇親会と全ての行事を無事終了致しましたことに心より御礼を申し上げます。

又、同日開催の役員会において役員全員の御推挙を受け、総会の承認を得まして第九代の連合会長に就任致しました。

もとより浅学非才でありますので、何卒よろしく御指導を賜ります様にお願ひ申し上げます。

福島県人会北海道連合会は、いわき市出身で、第五代の札幌市長を勤められた高田富興氏が札幌福島県人会会長の時、全道十八ヶ所の各県人会の結束のもと、昭和四十八年五月七日、函館市湯の川ホテル芳明荘にて、第一回福島県人会北海道連合会総会を開催、選出されて初代会長を務められ、県人会員の親睦と団結を望まれたのです。併せて事務局担当の県北海道事務所も昭和二十七

年の開設以来、只今は第二十代目の所長を迎えて居ります。

この様な歴史の延長線上の中で、私は、任期の期間中に、出来る限り各県人会の行事等に出席したいと思っております。

初手に、十月十四日に弟子屈町川湯温泉「ホテルきたふくろう」にて開催された、浜中、別海、美幌の各県人会合同の観楓会に参加し、各県人会員の皆さんと懇親を深めて参りました。

さて、来年の北海道連合会総会は千歳県人会の担当により平成三十年五月二十六日の開催で調整しているところ中です。

そのほか、来年度は、しばらく実施されていない母県訪問の年になります。旅行内容と代金、実施月日等により参加者が少ない為に実施できずに今日迄来て居ります。

来年、東日本大震災後七年になります。母県福島県では、平成三十年六月十日に、第六十九回全国植樹祭が南相馬市原町で開催されます。国も、県も復興に努力している所です。北海道の我々も母県福島県の復興の姿を直接目で見て確認する必要がありますのではないのでしょうか。

事務局で計画し、御案内の機会がありましたら、何卒御協力をお願い

申し上げます。

最後に、会員同志の結束を強くして歴史を継承していく使命感を高めて、親睦を基本に各県人会が発展される事を切に願ひ挨拶と致します。

ご協力に感謝して退任のご挨拶

福島県人会北海道連合会

前会長 神野 修



県人会のみなさん。お元気にお過ごしのことと拝察しています。

この稿を寄せながら頭をよぎるのは丁度収穫の時期になっていた昨年八月三十日に南富良野町を襲った台風による河川の氾濫、土砂災害で大打撃を受けたことです。今年も収穫期の九月に台風十八号が本道を襲いましたが、大きな被害がなく、安堵しています。災害は突如襲

つてきます。

忘れられません、私たちの母県福島県東北を突如襲った大地震、想像を超える大津波、そして東電福島第一原子力発電所の重大事故と、東日本大震災で未曾有の被害を受けました。あれから六年が経過しました。母県の皆さんの並々ならぬ決意と復興復旧へのご努力で、復興復旧が進んでいることを喜び合いたいと思います。

母県を離れて北海道民となった私たちは、故郷に思いを致しながら方言でお互いを励まし合う為に福島県人会北海道連合会を創立し、県

並びに県民の福利増進を図ることを基本目的にして、昭和四十八年から最大で二十四県人会がその都度主管を担当して毎年総会懇親会を開催してきましたが、近年高齢化に伴い会員が減少して十六県人会が解散等した為、総会主管担当の県人会の在り方について検討し、その結果八地区の県人会でその都度主管を担当して五会場で総会を開催することに再編し、第四十五回総会を札幌県人会のご協力で定山溪で開催しました。人口減少と超高齢化の社会情勢ではやむを得ません。

昨年十月、全国の県人会の交流会を北海道連合会の主管で支笏湖で開催して県人会活動の在り方、県人

会への貢献の在り方で意見を交換しました。

福島県が期待をする北海道連合会の活動を消してはなりません。福島県出身の人、二世、三世や縁故の人、福島県が好きな人を、皆さんの力で入会させようではありませんか。

平成二十五年に連合会長に就任以来、各位のご協力を頂き任務を果たしてきましたが、この度札幌県人会の田中四郎会長にバトンタッチして退任します。五年間のご協力に心から感謝申し上げます。

連合会の活動

第四十五回福島県人会北海道

連合会総会が開催されました

第四十五回福島県人会北海道連合会総会が、札幌市の「定山溪万世閣ホテルミリオーネ」で、五月二十七日（土）に開催されました。

鈴木福島県副知事をはじめとした多数の来賓をお迎えし、道内県人会から会員の皆様等、合計一〇七名が出席しました。

総会では事業計画や予算が承認され、さきの役員会で互選された新役員の報告があり、新たな連合会会

長に田中四郎札幌福島県人会会長が就任しました。また、次回の総会開催を千歳福島県人会が担当することが決定されました。

【新役員（敬称略）】

顧問 熊坂 成剛（函館）
会長 田中 四郎（札幌）
副会長 白石 政司（別海町）

監事 近藤 康弘（美幌町）
天野 登恵（浜中町）
小山 直子（函館）

理事 神野 修（苫小牧）
佐藤 貞夫（旭川）
五島 洋子（千歳）

式典では、長年県人会の発展に寄与された皆様に、福島県知事、福島県人会北海道連合会会長からの感謝状が贈られました。

【感謝状受賞者】

福島県知事

神野 修 様（苫小牧）

福島県人会北海道連合会会長

今野 操 様（札幌）

伊藤 忠孝 様（札幌）

中山 スミ子 様（旭川）

大竹 シヅ子 様（美幌町）

菅原 秀敏 様（浜中町）

佐野 スナヲ 様（苫小牧）

中川 光子 様（苫小牧）

懇親交流会では、御来賓の方々等から御提供いただいた福島県産日本酒等を飲みながら、母県の思い出

話に花を咲かせるとともに、副知事をはじめとした御来賓の方々や、会員同士の交流を深めました。また、カラオケ大会が催され、会員の皆さまが、自慢ののどを披露され、最後には、参加者全員で「ふるさと」を合唱して会場は大いに盛り上がりました。



【懇親交流会の様子】



【知事感謝状を受賞される神野様】

会員通信

福島県人会北海道連合会総会に

参加して

美幌福島県人会

会員 刈谷 敏子



私が福島県人会に入会したのは、二十年前ですが、その後病気をして脱退しました。昨年、連合会が網走であったことを話して下さった人がいて、私も再び入会したいと思い、初めて札幌の定山溪で総会に参加させていただきました。

福島と言えば、原発、なぜ福島だけが風評で苦しまなければいけないのかと腹立ちます。マイクロバスで札幌に行く途中、旭川は米所でブランド米が作られています。私の実家の田んぼの風景に似て、小さい時から親と一緒に田植え、稲刈りした日の事が思い出されました。ホテルミリオオーネに着き、四時か

ら総会、パンフレットの中になつかしい地域の人達がいて、ここにいる人達は、福島県の人達ばかり、名簿に私の知っている、何度も行った事がある友達に住んでいると思うと、なつかしく涙が出ました。心がほっとする幸せを味わっていました。

なつかしい福島の名まりの声で総会で話され、感謝状贈呈で美幌町の大竹シヅ子さんが選ばれ、「おめでとございます」と御来賓の挨拶があり、その後、「ふくしま復興のあゆみ」の説明がなされ、二〇二〇年のオリンピックに野球、ソフトボール競技が福島県内でも開催されると聞き、嬉しくよかったですと幸せを感じました。

復興のあゆみのパンフレットは、詳しくわかりやすく記載され、海の物、山の物、農作物、酪農物、出荷ができるようになり、買っていただけますようにと祈り続けています。売り上げが伸びている事がはつきり記載されてほっとしました。あゆみのパンフレットは、良くわかるように記載されており、いつも福島を心配している私の心は安心しました。まだまだ、復興されていないでしょうが、地元の人達は前向きに頑張っている事が良くわかりました。懇親交流会は、五年連続金賞受賞数日本一に輝いた美味しいお酒を

飲み、心も体も幸せ酔いをしました。食事も美味しくいただきました。朝のバイキングの品数が多く、そこで働いている従業員の方の対応のすばらしさに感心しました。

五月二十七日、二十八日の二日間は最高の日でした。美幌福島県人会の皆様によくして下さいましたこと、心から感謝しています。運転手の方もご苦労様でした。ありがとうございます。

平成二十三年三月十一日に発生した東日本大震災から早く復興されますようにと東北に向かって祈り続けます。私は、一日たりとも忘れずに祈り続けます。心から皆様へ感謝し、ありがとうございます。最後の挨拶の中で、福島県人会は「ほこりとプライド」を持って頑張ります。それを心にきざみ、ほこりを持って頑張るって行きたいと思えます。

第四十五回福島県人会北海道連合会総会に参加して...

美幌福島県人会

打地 良子

連合会の皆様には益々御元気で、お過ごしのことと推察致して居ります。

県人会の役職に居た夫に誘われて県人会に入会しました。美幌町担当だった第二十六回連合会総会は平成十年だったと思います。その後毎年、札幌、千歳、函館、旭川、弟子屈等、各県人会の皆様方とお逢いし楽しい時間を過ごさせていただきました。その都度福島県知事御夫妻を始め福島県の方々と懇談したことはなつかしい思い出となりました。福島のお酒に酔いしれた事は言うまでもありません。

ふるさと福島を想えばあの未曾有の東日本大震災により美幌町にも十家族の方々が来られ、その対応に東奔西走した事等は本当になつかしい思い出となり忘れることはありません。

あれから六年が経過し「新生ふくしま」として発展しつつある事はよろこばしい事です。平成十三年にふるさと福島に旅行した際、飯坂温泉、会津若松、東山温泉、鶴ヶ城、二本松、野口英世記念館等を見学し、福島のおよさを夫と共に再認識しました。

これからも福島県人会北海道連合会の御発展を祈念致し、又皆様方とお逢い出来ます事を楽しみにして居ります。



【夫・打地健一さんと】

第四十五回福島県人会北海道 連合会総会に参加して

美幌福島県人会

会員 大竹シヅ子

緑の素敵な季節になりました。
今年の五月二十七日～二十八日に
札幌の奥座敷定山溪温泉万世閣に
て開催され、今年は私こと感謝状記
念品などを頂き大変光栄に思っ
ています。

今年は何か良い事がありそうで
す。昨年は美幌担当で網走湖荘ホテ
ルでの開催、その時は北海道各地の
県人会員、北海道事務所の皆さんに
はご足労をかけました。想い出せば
第二十六回懇親会では、会津に関わ

る白虎隊詩吟は宍戸顧問、舞は私で
オーブニングに披露させて頂きま
した。総会に参加する度に脳裏に浮
かんできます。

歴史の会津を訪ねた時に、鶴ヶ城
飯盛山、武家屋敷、磐梯山、野口英
世生家を見学しました。二〇二〇年
の東京オリンピックでの野球ソフ
トボール競技の本県開催決定おめ
でとうございます。北海道より早期
の復興完了をお祈りします。



【白虎隊演舞を披露する大竹さん】

県人会の活動

「美幌福島県人会フェスティバル
開催に寄せて」

(平成二十九年六月十八日)

美幌福島県人会

会員 吉田 孝

新緑の時期となりまして、一番過
ごしやすい時期に成り、当会も色々
の活動時期となりました。

第四十五回連合会の総会も無事
終わり、その反省会、更に花見と夏
の風物詩、美幌観光和牛まつりを先
取りして「美幌福島県人会フェステ
イバル」として準備いたしました。
六月十八日に会員のお店オールナ
イト アカシア様で賛助会員も含
め三十二名の参加で開催いたしま
した。

佐藤登幹事長の司会で始まり、前
崎孝子準備委員長の開会の挨拶、近
藤会長の挨拶に続き、来賓には北海
道議会議員高橋文明様のメッセー
ジ、更には福島県北海道事務所から
長谷川守所長様の御臨席を賜り丁
重なるご挨拶を頂き本会に花を添
えて頂きました。

宴会に入りアカシア様の料理を
美味しく頂き、お酒で程よく酔いし
れたところで、打地顧問による水森
かおりの「ひとり薩摩路」の美声で
カラオケの幕を開けました。

特に小学三年生の吉田龍晃君に
よる北島三郎の「函館の人」の美声
には一段と皆を引きつけておりま
した。又、長谷川所長様によるサザ

ンオールスターズの「涙のキッス」
の歌には若く元気を頂き、印象に残
り感激しました。

会員の高齢化に伴い、会の存続の
厳しい現実には、親睦を深めたこの美
幌福島県人会フェスティバルを企
画した近藤会長には感謝感激です。
この様な会員交流の場が美幌福
島県人会の存続を期待したのは私
一人だったでしょうか…

思い思いの話が弾み、カラオケで
楽しんだ時間も予定の二時間を大
幅に延長してしまい、アカシア様の
配慮で本当に楽しい時間を過ごす
ことが出来ました。

小林勲さんとアカシアの店主熊
沢よしこさんのデュエットで川中
美幸の「二輪草」が大いに盛り上
ったところでカラオケの部を閉め
ました。

楽しかった「美幌福島県人会フェ
スティバル」は、山中智運さんの威
勢の良い一本締めと、大竹副準備委
員長の閉会の挨拶で、あつという間
に三時間近くの宴会は終わりました。

又、記録写真担当の花久正友さん
準備委員の阿久津泰子さんをはじ
め多くの方々にもお礼申し上げ、各
方面から沢山のご祝儀を頂いてお
ります事も厚くお礼申し上げます。
二次会も会員の照井歌子さんの

スナック尋で楽しいひと時を過ごしました。

美幌福島県人会が今後も更なる発展をし、近藤会長の元で新たな企画をして頂けるのを期待しながら帰路につきました。



【カラオケ大会にて熱唱する吉田さん】

観桜会を開催

函館福島県人会

事務局長 菅野 広道

五月二日(火)午前十一時から五稜郭公園で観桜会を開催しました。当日は絶好の花見日和に恵まれ、満開の桜の下、初参加三名を含む十四名が参加、おいしいジンギスカンとお酒で花見気分を満喫しました。「来年も是非」の声も聞かれました。

だが、会員の交流の場として今後も開催していきたいと思えます



【五稜郭公園での記念写真】

「傷心惨目碑前祭」を開催

函館福島県人会

事務局長 菅野 広道

箱館戦争で戦死した会津藩士を供養する「傷心惨目碑前祭」を今年も五月十一日(木)、高龍寺に於いて十三名が参列して行われました。札幌からは県北海道事務所長の長谷川所長が出席されました。永井住職が読経し、参列者が一人ずつ焼香し、箱館戦争で犠牲となった会津藩士を偲びました。その後、会員の郷土料理店・魚来

亭で昼食会を開催し歓談しました。碑前祭の様子は翌日の地元紙でも報道されました。



【高龍寺境内にて会津藩士を偲ぶ】

新会員の紹介

札幌県人会

齊藤 浩司 様(出身 いわき市)

小沼 由知 様(出身 郡山市)

安齋 秀隆 様(出身 二本松市)

安齋 裕香 様(出身 福島市)

苫小牧県人会

藤原 環允 様(出身 二本松市)

福島県からのお知らせ

全国新酒鑑評会金賞受賞数
五年連続日本一に輝きました

独立行政法人酒類総合研究所が開催している平成二十八酒造年度「全国新酒鑑評会」において福島県から四十五銘柄が出品され、三十銘柄が入賞、うち二十二銘柄が金賞に選ばれ、金賞受賞数で全国一位となりました。

福島県が金賞受賞で日本一となるのは五年連続です。福島県の酒造業者の高い技術とたゆまぬ努力によって作り上げられた「ふくしまの酒」の品質が本年も高く評価されました。

全国に誇れるおいしい福島県の日本酒を皆様も是非ご賞味ください。

福島県産ももPRイベント

「ふくしまプライド。ヨ北海道」を開催しました

七月二十六日(水)に、札幌市内で福島県産もものPRイベントを開催し、島福島県副知事やミスピーチ達が旬を迎えたももの美味しさを

をアピールしました。また、七月下旬から北海道内で始まったCM「ふくしまプライド。」を上映し、農林水産物をはじめとした魅力あふれる福島県産品や生産者の思い、ひたむきな姿を伝えました。

会場には二百名の来場者が訪れ、もののプレゼントには長蛇の列ができ、来場者はもの甘い香りに笑みをこぼしていました。

そのほか、八月二日（水）から八月六日（日）にかけて、札幌市、旭川市及び函館市内のスーパーマーケット等延べ十五店舗で福島県産ももの店頭試食販売会を開催し、各店舗とも美味しい福島のももの買い求めるお客様で賑わいました。



文化トークショー「北海道と福島県の文化交流2017」を開催しました

九月三日（日）に、札幌市内で一般財団法人北海道文化財保護協会と福島県北海道事務所の共催によるトークイベントを行いました。

コメンテーターとして、札幌福島県人会会長の田中四郎氏、北海道文化財保護協会顧問で札幌福島県人会員の原一夫氏、福島県北海道事務所長の長谷川所長が参加し、福島県の歴史や文化、観光地等を紹介しました。

会場には約百名の来場者が訪れ、盛況となりました。



新任職員紹介

福島県北海道事務所



次長
新田 耕作
出身 いわき市

三月までは農業振興課という部署で農業指導に関わる事務所の管理や被災した農業者の営農再開の支援などを行ってまいりました。

今年四月に北海道事務所へ着任してから半年、すっかり秋めいて、季節の移り変わりの早さに驚いています。札幌での一人暮らしに不安もありましたが、大都会でありながら自然が豊かで便利な都会暮らしにすっかり慣れ、おいしい食べものも多く、体重増加が悩みのタネです。来年こそは、趣味の釣りを楽しみながら、広大な北海道各地を訪れて、様々な魅力を感じたいと思っています。

県人会の皆さまには、様々な場面でお世話になっております。県人会との絆が、少しでも福島と北海道の交流促進につながるよう努めてまいりますので、よろしくお願いたします。

福島県北海道事務所



主事
金田 亮介
出身 郡山市

この四月から北海道事務所勤務となりました。北海道にはこれまで訪れたことがなく、少し不安を抱えながら赴任したのですが、県人会の皆様方にとっても暖かく声をかけていただき、そうした不安も消え去ったと同時に、北海道は人情味溢れた暖かい（気温ではなく）場所だと今は感じております。

北海道は冬がもうそこまで訪れていますね。三月まで相馬港湾建設事務所というところで相双地区の復興に関わっていたのですが、ご存じのとおり、相双地区は雪がほとんど降りません。しかし、私はカメラやスノーボードなどが趣味なので、これから北海道の素晴らしい雪景色、雪山に行くことを楽しみにしております。

これからも、県人会の方々とお会いできることを心待ちにしております。今後ともよろしくお願いたします。